

2015. 12. 1

# いのちの議会



11月14日に行われた全町子ども議会～関連記事はP 25～

## 主な内容

- こんなこと決まりました…………… 2 P～4 P
- 決算認定…………… 5 P～6 P
- 議長室からこんにちは・意見書…………… 7 P
- 行政報告…………… 8 P～9 P
- 一般質問  
  ここが聞きたい一般質問…………… 10 P～22 P
- 議会活動…………… 23 P～24 P
- 町民の広場…………… 25 P
- 議会の動き…………… 26 P

# 一般会計補正予算 2億4760万円増額



利活用に向け改修される旧東陵中学校

※繰越明許費とは  
何らかの事情でその  
年度内に支出を終了す  
ることができない経費  
について、翌年度に予  
算を繰り越すこと

一般会計は、補正予算  
(第4号) 2億4760  
万7千円を追加し、総額  
78億9576万8千円と  
なりました。  
主な事業について、

## 財政健全化基金積立金

平成26年度一般会計決  
算の歳入から歳出を差し  
引いた剰余金3億585  
5万円のうち次年度(※)  
繰越明許費を引いた金額  
の2分の1に相当する金  
額1億7800万円を積  
立てするものです。

## 第3回定例会 9月7日～17日

9月は決算議会です。11日間の会期で開催しました。平成26年度の一般会計・特別会計の決算認定については、決算審査特別委員会の審議を経て、本会議で各会計とも認定しました。【詳細は5～6Pを参照】一般会計と国民健康保険事業特別会計の補正予算のほか個人情報保護条例の全部改正、補正予算のほか個人情報保護条例の全部改正、補

## ふるさと寄附金業 務委託料

取り扱いの変更に伴い、歳入ではふるさと応援基金積立金として1700万円を増額補正し2000万円の寄附を見込みました。歳出では、ふるさと寄附を受けた場合の返礼品及び送料・消費税を寄附金の2分の1相当として1172万円を計上しました。

## 水費 清掃センター光熱

本年3月で清掃センターチ焼却施設での業務が終了しました。しかし、焼却炉内の残渣の運び出し・清掃作業に伴う電力量が焼却時と同等にかかるため、電気料金が発生する見通しなかつたことにより増額したものです。

## 主な補正予算額 (金額は万円未満切り捨て)

財政健全化基金積立金	1億7800万円
ふるさと寄附金業務委託料	1172万円
街路防犯灯設置費補助金	500万円
清掃センター光熱水費	670万円
旧東陵中学校改修工事	469万円
除雪業務委託料	1570万円
排雪業務委託料	590万円

## 旧東陵中学校改修 工事

条例の一部改正（3件）、規則の一部改正（2件）、教育委員の同意などの審議を行い、すべて原案どおり可決・同意し、6件の意見書を採択しました。【詳細は2～4Pを参照】また、12人の議員が計31件の一般質問を行いました。

い、町政全般にわたる活発な議論を行いました。【詳細は10～21Pを参照】

まだ正式な再活用計画が決定していませんが、旧東陵中学校の当面の利

用に向けた改修工事を行います。内容は、高圧ケーブル改修・トイレな

どの水回りの上下水道設備改修など最小限の施設整備の工事費です。

## 条例の改正

### 個人情報保護条例の全部改正

6月より総務常任委員会で付託審査していた「個人情報保護条例の全部改正」について、一部を修正して可決しました。

### 手数料条例の一部改正

社会保障・税番号制（マイナンバー制度）の開始に伴い、条例の一部改正を行います。  
 ①通知カード及び個人カードの初回交付手数料は国が負担するが、紛失・消失、著しく損傷した場合の再交付の際には再交付手数料として徴収する。  
 ②住民基本台帳カードは、平成28年1月から新規交付は行わないため、手数料を廃止する。

### 空き家等の適正管理に関する条例の一部改正

空き家が適正な管理をされずに放置され危険な状態からの被災を防ぎ、良好な生活環境や景観を保全するなどを目的とした条例。国の「空き家対策の推進に関する特別措置法」が本年5月に全面施行されたことにより、条例の題名及び条文について一部改正を行うものです。

### 町営住宅管理条例の一部改正

「公営住宅の入居資格の特例を規定する福島復興生成特別措置法」の条番号が変更されたことにより、条例の一部改正を行います。

また、公共下水道事業、地方卸売市場事業、水道事業の各会計の資金不足の比率が算出されず良好との報告を受けました。土地開発基金運用状況は、前年基金総額に預金利子分が増額となっています。

### 規則の改正

### 議会会議規則の一部改正

議会における欠席の届出の取扱いに関して、社会情勢などを勘案し、出産の場合の届出について、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届けを提出できるとする改正です。

### 議会傍聴規則の一部改正

議会の傍聴席に持ち込むことを禁止しているものに関して、社会情勢などを勘案し、杖（つえ）について削除する改正です。

## 報 告

平成26年度健全化判断比率の報告があり、実質公債費が9・3%、将来負担率が58・9%でともに基準値を下回っています。

## 各議員の賛否

賛否の分かれた議案のみ掲載しています。他の議案については、全員が賛成しました。

審議結果	議案名等	小川 不朽	笠原 啓仁	坂井 美穂	門田 淳	古谷 眞司	木村 聖子	原田 芳男	作井 繁樹	山田 勉	田中 義人	柳 政信	阿部 和則	盛多 勝美	森下 義照	三島 喜吉
<b>第3回 定例会</b>																
可決	平成26年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
可決	平成26年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
可決	平成26年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
可決	平成26年度介護保険サービス事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
可決	平成26年度公共下水道事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
可決	教育委員会教育委員任命の同意	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

## 意見書

次の意見書（6件）を採択しました。

- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 地方財政の充実、強化を求める意見書
- 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書
- 介護報酬の見直し等に関する意見書
- 地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書
- I C T 利活用による地域活性化とふるさとテレワーカーの推進を求める意見書

〔詳細は7Pに掲載〕

### 教育委員会委員に 同意

町教育委員に

樋口 朋子さん（50）

を任命することに同意しました。

本年9月30日で石田祥二さんの任期が満了となるために選任されたものです。



樋口 朋子さん

任期は10月1日から4年間です。

### 契約の締結

学校給食センター工事請負契約の締結に関する議案3件（計1億4902万円）を可決しました。

### 第8回臨時会 10月5日

一般会計補正予算を原案どおり可決しました。

9月21日の局地的豪雨によつて町道琴平高見線で崩落した土砂の撤去費400万円を一般会計に

### 固定資産評価審査 委員会委員に同意

固定資産評価審査委員会委員に、

福光 明廣さん（72）

平宮 勇さん（74）

喜多 繁さん（73）

を再任することに同意しました。  
任期は3年間です。



喜多 繁さん



平宮 勇さん



福光 明廣さん

### 第6回臨時会 7月6日

一般会計補正予算と学校給食センター工事請負契約の締結を原案どおり可決しました。

### 補正予算

一般会計補正予算の主な補正額は、統合保育所費（基本設計・地質調査・測量業務委託）1750万円となつています。学校給食センターの財源に見込んでいた国の交付金約1億2千万円が受けできなくなつたことから、本年度工事分の900万円に対し、前年度繰越金と町債を充てることとしました。

### 特別委員会の設置

「統合保育所に関する特別委員会」設置の（※）動議を可決しました。

### 第7回臨時会 8月5日

一般会計補正予算と水道事業会計補正予算を原案どおり可決しました。

一般補正予算については、本年7月7日発生の公用車事故に伴う損害賠償に関して61万4千円の追加を行いました。

水道事業会計補正予算では、本町排水管の漏水による損害賠償額169万2千円の追加を行いました。

追加する専決処分を承認し、町道復旧費2300万円を追加する本年度一般会計補正予算案を可決しました。復旧完了は年内の見通しです。

### 第9回臨時会 10月30日

一般会計補正予算を原案どおり可決しました。

双葉ダムは農林水産省との管理委託協定に基づき本町が管理を行つているダムです。

双葉ダムの施設不具合発生に伴う整備・修繕事業費2475万9千円を追加する本年度一般会計補正予算案を可決しました。

※「動議」とは主に議会の進行や手続きに關して議員から議会に對して行われる提議で、議会の議決をする動議などがある。

## 平成26年度 決算審査特別委員会

# 各会計決算を認定

平成26年度の一般会計や国民健康保険事業特別会計など5つの特別会計と水道事業会計の決算を審査するため、定例議会初日の9月7日、議員8名（小川・坂井・門田・古谷・作井・山田・盛多・三島）による決算審査特別委員会を設置しました。



サンモリツ市交流訪問

行いましたが、採決の結果、賛成多数ですべての会計決算を委員長の報告どおり認定しました。

### 決算審査特別委員会での主な質疑

#### ■一般会計

**Q 姉妹都市交流費の関係で、今年度の成果と今後の見解は。**

**A** サンモリツ姉妹都市提携50周年で、20名募集したところ、19名の応募になりました。参加者からは、交流の重要性が

あると評価されています。国際リゾート地として成長していくためにも継続した事業とする。

**Q 不用額が各款項目で発生しているが、要因は何か。**

**A** それぞれの款項目により要因は違う所はあるが、年度途中の急な需要経費の需要が発生する時のために、若干の余裕を持つた予算措置をしてい

**A** 抵抗性品種の助成では106件148万4780円の助成、D-D薬剤の購入経費の2本立てで行っている。

**A** 法人税・法人住民税・個人住民税が伸びている。

定資産税の増収が要因だが、総括的な見解を。

**Q 馬鈴薯生産振興対策事業システムセンチュウ対策で対象戸数と、施策効**

**Q 町税が全体で增收になつてきる。町民税、固**

**A** 被保険者数が前年度から167件減っている部分が一つと考える。

**Q 航空写真撮影及び家屋図作成業務委託の成果の活用方法と目的について。**

**A** 家屋については新設・滅失、土地に関しては分筆や誤筆が航空写真とデジタル化によつて、賦課を公平・平等に掛けるのにこのシステムを導入している。また課税の公平性・平等性、誤りの無い業務を目的とする。

**Q 歳入で前年よりも3000万円ほど下がつてゐるが、その要因は**

**Q 授与金で、170万円程の予算で実際は94万8000円の決算である。**

**A** 授与金を求める方は多いと考えるが、制度としてハードルが高いか、周知がされていないのか。

**Q ふるさと応援寄附金について、県知安町民が他町に寄付した時の控除額は。**

**A** 26年度に他町へ寄付した金額は、30件118万1000円となつて

**A** 年度始めに町広報紙及び、各高校に依頼文書で周知しているが、大学での実績が少ない。本制度が十分に活用されるよう周知の改善をする。

#### ■国保会計

**Q 歳入で前年よりも3000万円ほど下がつてゐるが、その要因は**

**Q 马鈴薯生産振興対策事業システムセンチュウ対策で対象戸数と、施策効**

**A** 被保険者数が前年度から167件減っている部分が一つと考える。

## ■決算認定に対する原田議員の反対討論（要約）

### ●一般会計

平成26年度決算は、3億5540万円の黒字となっています。

第1に予算審議の際にも指摘しましたが、予算編成が総合計画によらず策定され、その後も総合計画が策定されず会計年度が過ぎたことあります。そもそも総合計画は、地方自治法第2条第4項で、市町村はその事務を処理するにあたり、議会の議決を経てその地域における総合的な行政の運営を図るため、基本構想を定め、これに即して行うとされています。

第2に、市民の様々な要求に応えない町政は大問題である。原発の防災計画や子どもの教育、除雪など、切実な市民要求を取りまとめ、福島町長に要望書を提出して実現を求めて来たが、全く実現に取り組もうとしません。

第3に、俱知安町の財政は、この十数年の決算でも3億円前後の黒字が続いているが、福祉ハイヤーの充実や給食費への消費税の増税の中止などを行う財源は十分にあります。

市民要求を大事にする政治を求めます。

### ●国保会計

過去5年連続の引き上げで、その負担は耐えがたい。社会保障の充実といって消費税を増税しながら、国保財政へのこ入れをしない国の責任を厳しく問うと同時に、町の責任もあります。一般会計からの繰り入れによって、これ以上の保険料の引き上げなどせず、暮らしを応援する立場で引き下げを求めます。

### ●後期高齢者医療事業会計

高い保険料が徴収されるのに、医療で差別を受けるなど、制度自体に問題があります。

### ●下水道会計・水道事業会計

水道料と下水道料金に消費税増税分の転嫁を4月から行っている。子育て支援、高齢者福祉の観点から、消費税の転嫁をやめるよう求めます。

# 平成26年度 決算報告

## 一般会計・特別会計決算総括表並びに一般会計財政構造

会計名	収入金額	支出金額	収支差額
一般会計	79億6410万2984円	76億0554万8005円	3億5855万4979円
特別会計	18億7992万5073円	20億1498万9939円	△1億3506万4866円
国民健康保険	7億2393万9598円	8億6738万8414円	△1億4344万8816円
後期高齢者医療	1億5481万7377円	1億5134万3903円	347万3474円
介護保険サービス	402万1602円	381万6002円	20万5600円
公共下水道	9億9037万0957円	9億8670万8858円	366万2099円
地方卸売市場	677万5539円	573万2762円	104万2777円
全会計	98億4402万8057円	96億2053万7944円	2億2349万0113円

一般会計財政構造
翌年度繰越財政 3,155千円
実質収支 355,400千円
単年度収支 108,490千円
財政力指数 0.44
経常収支比率 81.7%
実質公債費比率 9.3%
積立金現在高 1,479,421千円
地方債現在高 7,242,170千円
債務負担行為額 768,610千円

## 水道事業会計決算総括表

区分	収入金額	支出金額	収支差額	備考
収益の収支(消費税除く)	7億0069万5580円	6億4249万5263円	5820万0317円	水道水を家庭に送る費用
資本的収支(消費税込み)	2250万7521円	1億7533万0570円	△1億5282万3049円	施設の建設・改良のための費用 不足額は「内部留保資金」などから補てん

## 意見書を提出しました

(要旨)  
議決された意見書は、関係機関に送付しました。

### 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書

財源を5年以上確保し、人件費やハード事業など使い易い交付金とするこ

### 林業・木材産業の成長 産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

義務教育費国庫負担法の改正により北海道は地理的な観点から教育水準の低下が憂慮されている。教職員定数の拡充や災害時の避難場所として機能する校舎改修費など義務教育予算の確保、拡充を求める。

### ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書

地方においてもICT技術の活用により都市圏のような就労環境を創り出し、活性化を図る必要

がある。そのためにWi-Fi環境の充実、テレワーク関連の税制優遇の周知などを求める。

### 介護報酬の見直し等に関する意見書

京都議定書に基づき、森林整備事業や治山事業など山村における雇用の確保、更に「森林整備加速化・林業再生対策」の恒久化と財源確保を求める。

### 地方財政の充実・強化を求める意見書

北海道においては過疎地や遠隔地が多く、従事者の待遇が低いために介護サービスが十分に提供されていない。介護報酬の見直しやサービス利用に必要な策を講ずることを求める。

### 地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書

税制変更により社会保障や子育て支援、福祉・介護制度などが小規模自治体にしわ寄せが来ないよう配慮した段階補正等の対策を求める。

### 地方創生において各省政府の役割分担の明確化と

## 議長室からこんにちは



12月に入りました。師走とは季節(四季)が終わる。春夏秋冬が果てる意味の「しばつ」がなまつて「しわす」になつたのだそうです。これは四季の終わり、つまり季節が終わるという意味でもあり、特に12月13日は正月を迎える準備を始める日で、昔はこの日に門松やお雑煮を炊くための薪など、お正月に必要な木を山へ取りに行く習慣があつたと季節の辞典にあります。

二セコひらふへの世界からの投資等は、目を見張るものがあります。しかし、町民の身近な生活がどれほど豊かになつたのか疑問に感じるところが多くあります。建設中の学校給食センター(12億7千万円)を始め2018年完成予定の俱知安保育所(10億円)など多くのプロジェクトを進行中ですが、過疎債など交付税措置のない俱知安町にとっては財源確保も難しいところであります。年末の挨拶には少し早いのですが、本年一年、俱知安町議会は皆様に大変お世話になりました。6名の新人議員を迎えての俱知安町議会は改革と飛躍の大きなスタートを切りました。常任委員会はもとより議会活性化、統合保育所、自衛隊駐屯地、広報などの特別委員会を設置して各分野にわたる議論を積極的に展開をしています。また、2026年の札幌冬季オリンピック開催、併せて高規格道路の俱知安インターチェンジ・北海道新幹線開業を見据えた、俱知安のまちづくりをどのように進めるのか、根本の基本的なコンセプトについても早急に多くの町民の皆さんとの声を聴きながら進めることも議会の大重要な仕事であります。

町民の皆様の声を大切にしながら丁寧な議論を進めてまいりますので、よろしくお願い申しあげます。

# 行政報告

定例議会冒頭での町長・教育長の行政報告、今回は平成27年5月16日から平成27年8月15日までの3ヶ月間の状況報告です。以下、その中の主な項目について掲載します。

## 行政報告（町長）

### 総合政策課関連

人口ビジョン及び総合戦略の年内の策定作業を進めており、今年度の交付金を活用し行っている事業の進捗状況。

- ①プレミアム商品券発行業は7月5000セットと12月9000セットを販売予定とし、7月からは広報7月号に購入希望申込書を折り込んだ。販売額は5000円単位で、1世帯上限5万円となっている。
- ②子育て世帯商品券事業は、7月1日から申請を受付け、8月より順次支給決定（8月10日現在で約500世帯）している。使用期間は、平成28年1月末まで。
- ③国内外観光プロモーション事業は、国内誘客プロモーション業務委託として590万8000円海外誘客プロモーション業務委託として310万円、ともに7月9日に俱知安観光協会と委託契約を締結した。



イングリッシュサマーディキャンプ

- ④定住化促進のための住宅リフォーム工事を町内事業者に依頼した場合に助成する。
- ⑤町民の英語力向上事業は、小中高の連携事業としてイングリッシュサマーイキヤンプを8月5日に開催し、今後は、10月下旬と1月下旬ごとに2回開催を予定している。

地方版人口ビジョン、総合戦略策定の進捗状況は、地方版まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」の年度内の策定に向けて業務を進めている。

### （仮称）羊蹄山麓・西胆振地域広域連携会議の発足について

8月26日、喜茂別町長の呼びかけにより、（仮称）羊蹄山麓西胆振地域広域連携会議が発足した。

本格的な跡利用としての道筋が決まるまで、暫く開放を行い、活用していく。

定的ではあるが、体育館、旧校舎1階及び2階の一部を町民の皆さんに幅広く開放を行い、活用していく。

### マイナンバー制度の周知広報

ホームページへの掲載、8月号町広報への制度説明の小冊子を折り込むなど、新たな制度の周知について積極的に行っていく。

### 建設工事等の執行状況

平成27年度俱知安町発注工事情報（上半期、工事金額130万円以上）で公表している工事の発注状況は、工事件数は62件中42件で67.7%、金額（予算額）ベースでは94.2%の執行率となっている。

### 建設課関連

建設課所管の8月1日現在の工事発注状況は22件中発注済みが15件で、8月末までに発注予定のものが1件、9月中旬に発注する予定が2件、発注済み道路改良工事に伴う附帯工事が2件と比羅夫橋橋梁修繕に係るもの2件を11月に発注する予定で準備している。

### 大災害の発生、情報通信網の拡大など地域を取り巻く社会環境が変化し続ける中、高速道路の整備

北海道新幹線の札幌延伸を間に控え、道内の他の観光地におくれをとらないことや災害への対応などを目的にしたものであります。

### 総務課関連

#### ふるさと納税

本町の強みの一つであるスキーシーズン開幕時期及び例年、寄附件数の増加する12月からの本格稼働に向けて諸準備を進めていく。

### 旧東陵中学校

本格的な跡利用としての道筋が決まるまで、暫く開放を行い、活用していく。

### 農林課関連

#### 町内の主要作物の作況

本年は、春の作付時期には、好天に恵まれ、降水量も平年より少なく、農作業が順調に進み、作物の成育も平年並みだったが6月中旬から下旬にかけて低温が続き、作物の成育も全般的におくれた。7月に入り、気温の回復と適度に雨が降ったこともあり、8月1日現在の生育状況は全般的に平

定的ではあるが、体育館、旧校舎1階及び2階の一部を町民の皆さんに幅広く開放を行い、活用していく。

年並みからややよい状況となつた。

バレイショは、形もよく、収量的にはよいと聞いている。また、秋まき小麦の収穫作業は終了し過去最高の収穫量だったと聞いている。

## 教育行政報告 (教育長)

全道大会出場を果たした。  
ソフトボールは、7月  
に石狩市の大会に出場し  
1回戦は接戦を制し勝利  
2回戦で今大会の優勝校  
に惜しくも敗退した。

サッカーは、7月に帯  
広市で開催され、1回戦  
で大会ベスト4のチーム  
に延長戦の末敗退した。

水泳は江別市、陸上は  
室蘭市の大会にそれぞれ  
男女各1名が出場した。

男子バーレーボールは  
余市東中との合同チー  
ムに俱中から2名が全道大  
会に初出場したが、予選  
ブロックで敗退した。

5年女子の3名がソフト  
ボール投げで入賞、ほか  
3個人1団体が入賞した。

中学生では、4競技で  
各校の児童17名とリレー  
2チームが7月に千歳市  
で開催の第33回北海道陸  
上競技大会に出場。東小  
5年女子の3名がソフ  
トボール投げで入賞、ほか  
3個人1団体が入賞した。

男子バーレーボールは  
余市東中との合同チー  
ムに俱中から2名が全道大  
会に初出場したが、予選  
ブロックで敗退した。

5年女子の3名がソフ  
トボール投げで入賞、ほか  
3個人1団体が入賞した。

中学生では、4競技で  
各校の児童17名とリレー  
2チームが7月に千歳市  
で開催の第33回北海道陸  
上競技大会に出場。東小  
5年女子の3名がソフ  
トボール投げで入賞、ほか  
3個人1団体が入賞した。

中学生では、4競技で  
各校の児童17名とリレー  
2チームが7月に千歳市  
で開催の第33回北海道陸  
上競技大会に出場。東小  
5年女子の3名がソフ  
トボール投げで入賞、ほか  
3個人1団体が入賞した。



全道大会に出場した女子ソフトボール部

6・7月に2校の高校  
教員が各小学校に乗り入  
れ授業を行った。8月に  
は地方創生先行型交付金  
を活用した事業として、  
小中学生20名が参加して  
イングリッシュ・サマー  
キャンプを実施した。今  
後、秋のハロウイーン・  
キャンプ、冬のウインターニ  
・キャンプを予定して  
いる。

キヤンプを実施した。今  
後、秋のハロウイーン・  
キャンプ、冬のウインターニ  
・キャンプを予定して  
いる。

7月に俱知安町通学路  
安全推進会議を開催し、  
会議設置の目的を含めた  
要綱の制定、通学路の安  
全確保に関する取り組み  
方針等の了承を得た。  
今後、各学校から危険  
性が高いと考えられる通  
学路箇所の報告を受けた  
後、関係機関による合同  
点検を実施し、対策に係  
る改善方法や充実に向け  
た協議などを進め、児童  
生徒が安全に通学できる  
よう通学路の安全確保に  
努めて行きたい。

5クラス153名を対象  
とした学芸員による授業  
で構成される調査委員会  
を組織し、文科省の検定  
を経た全ての教科書に関  
する調査研究とその報告  
に関する審議を経て、8  
月3日に第4地区の採択  
教科書を決定した。

その後、8月の教育委  
員会議で俱知安町の平成  
28年度小中学校使用教科  
書を決定した。

## 学校給食センター建設

7月27日に工事関係者  
による安全祈願祭が行わ  
れ、建設工事に着手した。  
工事期間は冬季の工事休  
止期間を含め平成28年10  
月末までの2カ年。

今後、センター建設と  
あわせ効率的な運営方法  
などの検討協議を進める  
とともに、児童生徒に安  
心・安全な給食を提供で  
きるよう努めて行きたい。

## 小中高英語連携事業 教科用図書を採択

## 平成28年度小中学校用 教科用図書を採択

## ■社会教育関連

### 公民館

版画家による技法体験  
ワークショップを2回開  
催したほか、麓彩会員  
の画家による造形活動  
ワークショップも2回開  
催するなど、参加者・参加  
者と児童が美術との触れ合い  
を楽しんだ。

俱知安中学校の1年生  
5クラス153名を対象  
とした学芸員による授業  
支援(出前授業1回、美術  
見学)なども実施した。

版画家による技法体験  
ワークショップを2回開  
催したほか、麓彩会員  
の画家による造形活動  
ワークショップも2回開  
催するなど、参加者・参加  
者と児童が美術との触れ合い  
を楽しんだ。

## 小川原脩記念美術館

常設展示の生活文化展  
示「あそぶ」を廃止。「つく  
る」の展示として全面改  
装。1階ロビーに展示し  
ていた「指物道具」と収蔵  
庫に保存していた鍛冶  
道具を移動し、日英解説  
文を付けて展示した。

企画展示では「太鼓の  
ロクさん」のモニュメント  
とパネル等の展示を8  
月末まで実施した。

今年度の重点的取り組  
み俱知安アーカイブの  
古写真のデジタル化の  
作業は順調に進み、今後  
は写真のデータ収集を兼  
ねた一般公開を検討して  
いる。

版画家による技法体験  
ワークショップを2回開  
催したほか、麓彩会員  
の画家による造形活動  
ワークショップも2回開  
催するなど、参加者・参加  
者と児童が美術との触れ合い  
を楽しんだ。

版画家による技法体験  
ワークショップを2回開  
催したほか、麓彩会員  
の画家による造形活動  
ワークショップも2回開  
催するなど、参加者・参加  
者と児童が美術との触れ合い  
を楽しんだ。

# この課題に質問が集中 「子育て支援」 「教育環境整備」



今回の一般質問では、子育て支援や教育環境の整備に関する質問が多く見られました。「この課題に質問が集中」では、3人以上の議員の類似した質問について、トピックスとして掲載しました。

## 子育て支援

### ■原田議員

- ・統合保育所について、3歳以上は民間幼稚園としているが保育所を希望する場合、どうするのか。多子世帯の要望は。

■門田議員

- ・統合保育所について十分な打ち合わせの上、基本設計を。3幼稚園との連携と問題点は。統合保育所準備室の創設を。

■小川議員

- ・他の奨学金制度の併用を可とするよう、「町奨学金給与条例」の見直しを。

善を。

今回の一般質問では、子育て支援や教育環境の整備に関する質問が多く見られました。「この課題に質問が集中」では、3人以上の議員の類似した質問について、トピックスとして掲載しました。

■坂井議員

- ・放課後児童クラブの待機児童解消と拡充に向けた問題点を問う。
- ・統合保育所の建設に柔軟な施設運営ができる検討を。

■柳議員

- ・保護者の病気や急用時などを支援するファミリーサポートセンター事業を推進すべきではないか。

■古谷議員

- ・春先における小中学校グラウンドの早期利用を。・教職員の勤務時間の改善を。

「一般質問」とは、定例議会において、議員が住民の代表として、行政全般にわたりて、町長や教育長などに疑問や考え方をただし、町政のより良い運営に反映することを目的としています。

各議員の質問は、本人が要約したものをお読みしています。

# 一般質問

小川議員：

地方版総合戦略の策定／俱知安町奨学金給与条例

笠原議員：

リフォーム助成事業／新電力の活用実施状況／冬季生活支援／通学路の安全確保／絵本館の運営

原田議員：

地方創生／社会保障制度／子育て支援

坂井議員：

放課後児童クラブ／統合保育所／防災に女性の視点とヘルプカード

門田議員：

町のビジョン／高齢者・障がい者支援策／ふるさと納税／新たな子育てシステム／社会教育行政「公民館図書室・スポーツ事業」

古谷議員：

教育環境

木村議員：

俱知安町こどもプランの実効性

作井議員：

流雪溝対策／町道の除排雪／間口雪処理／総合戦略の活用

山田議員：

車検整備に係る発注の均衡化／じゃがりん号の郊外運行

田中議員：

官民連携による合理化と活性化

榎議員：

観光・防災等の広域連携／子育て支援「ファミリー・サポートセンター」／住みやすい住宅の声

阿部議員：

東陵中学校跡地の利活用

# 町政を問う

12人の議員が31の質問



## 小川 不朽 議員 … 2件の一般質問

### 「俱知安町総合戦略」に対する町長の政治姿勢

町長：地方に自主性を重んじた国の姿勢を好機と捉え取り組みを進めたい

**町長** 全国的な少子化や社会経済動向により、人口の微減傾向は続いている。一方で、本町は比較的若い世代が多く住み、観光などによる交流人口の多い町であり、新幹線や高速道路などの高速交通網の整備や国際観光リゾートの創出など、将来に可能性を持つ町である。

「まち・ひと・しごと創生」に関して、地方に自主性を重んじた国の姿勢を好機と捉え、町が一丸となつて本町の強みや可能性を生かし、交流人口を拡大させ、人口減少を抑制するなど、俱知安ならではの取り組みを進めていきたい。

**小川** 国は、来年3月末までに地方人口ビジョン及び地方版総合戦略を策定するよう求めている。

「俱知安町人口ビジョン」及び「俱知安町総合戦略」策定に対する町長の政治姿勢と、その取り組みの進捗状況、策定の時期を伺う。

「人口ビジョン」については、10月下旬予定の有識者会議で素案を提示、11月中旬下旬に素案公表、パブリックコメント、12月下旬予定の有識者会議で案を提示していきたい。

「総合戦略」については、以上のスケジュール感を持って年度末までに「人口ビジョン」及び「総合戦略」の確定版として公表したい。

**教育長** 本町の奨学生は学費の一部を補助する考え方のもと、貸付型ではなく返済の必要がない給付型となつており、他の制度との併用を禁止していることで運用している状況にある。

最も重要なのは、中長期的な見通し、本町を取り巻く状況、住民の生活実態や強みと弱み、地域間連携などしつかり見据えた戦略を策定し、見直

しを繰り返しながら実行し、成果を追求し続けることと考える。

この奨学生が創設された趣旨なども十分踏まえながら、複数の制度を併用することも一つの方法だと思うし、また例えば基準、成績とか所得の基

**小川** 本町では、能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難な学徒に奨学生を給与し、もつて有用な人材を育成することを目的とした「俱知安町奨学生給与条例」が定められている。

経済的理由による修学困難な学生・生徒の実態を捉えたとき、町奨学生給付と他の奨学生制度の併用を可とする条例の改正が必要だと考えるが。

■お問い合わせ／明保健相談室

**平成27年度俱知安町奨学生を募集します**

町内在住者で、お子さんが高校や大学に進学・在学し、さらなる学業向上を目指す人に奨学生を交付します（他の奨学生との重複はできません）。この奨学生は返済不要です。

■募集区分と奨学生額／

- ・高校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校の第1～3学年の過程、専修学校高等部＝月額9千円以内
- ・大学、短大・高等専門学校の第4・5学年の過程＝月額2万5千円以内
- 募集人数／高校・大学等各7人以内
- 申込期限／6月1日(月)までに、在学中の学校を経由して申請。
- 選考には本人学力や保護者所得等の要件があります。詳細は町教育委員会学校教育課(☎ 56-8018)までお問い合わせ下さい。

# 笠原 啓仁 議員 … 5件の一般質問

## 「リフォーム助成事業」 恒久的・継続的な制度の確立を



町長：住生活基本計画の施策の一つとして位置づける

**町長**

①平成22年度は104件、補助金1862万3千円に対し、工事費が1億8385万3千円。平成23年度は120件、補助金1万6千円に対し、工事費が1億8030万7千円。平成24年度は89件、補助金1650万6千円に対し、工事費が1億4879万8千円。3年間で補助金5655万5千円に

今後におけるリフォーム助成等の住宅施策については、良好な社会資産となる住宅の確保を図るため、住生活基本計画の施策の一つと位置づけて進めていくことになる。

**町長**

①これまで北海道を供給区域としている事業者を対象として供給可能な検証を行った結果、削減率が高く、切りかえる時に初期投資

等あらゆる面から大変有効と思われる。それらの点を踏まえ、本町の恒常的・継続的な制度として確立すべきではないか。

③今年度は、中古住宅への住み替えが進むものと考えており、それらを支援するための新たな助成制度の創設や、誘導するための助成金の底上げ等の手立てが必要と考えている。

③町民の住環境整備をはじめ、空家対策、定住対策、雇用対策、中小企業支援、本町経済の活性化

助成金に対し申請工事費が約9倍となり、業種に関しても土木工事、板金、建具、塗装、内装、

①昨年の町長答弁のとおり今年度から「新電力」との契約は実施されている。

②来年4月からは「新電力」からの電気購入が完全自由化となり、一般家庭においても北電以外の事業者との契約が可能となる。役場においても、施設の規模に関わらず複数の事業者と自由に契約することができる。今後、「新電力」との契約拡大についてどう考えているか。

**笠原**

昨年度は、約900万円の予算で

「冬季生活支援」  
今冬季も助成事業の継続を

\*この他に①「通学路」「冬季生活支援費助成事業」（福祉灯油）が実施された。昨年度に続き、今年も実施すべきと思うが、どうか。

は、工事代金が補助金のほぼ10倍の実績となり、本町経済活性化の下支えの役割を果たした。

そこで、以下の点はどうなっているか。過去に実施した3年間の実績。

②町長の評価は。

過去に実施した3年間の実績。

笠原  
2010年から3年間実施された「リフォーム助成事業」は、

対し、工事費が5億1295万8千円で、約9倍

実施状況はどうなっていますか

「新電力の活用」の必要がなく安定的に電力の供給が見込まれる特

直近では平成24年度、25年度、26年度と3カ年支

えられる。

②住宅の快適性や機能性といった住居性の確保において、リフォーム助成は有効に活用されていたと考えている。助成期間を1年間延長するなど、町民からの需要が高かつたとうかがえる。

過去に実施した3年間の実績。

この件に関しては、1年前の9月定例議会で当時の福島町長は「来年度から可能なところから実施していきた」と答弁した。その後つぎの点はどうなっていますか。

この件に関しては、1年前の9月定例議会で当時の福島町長は「来年度から可能なところから実施していきた」と答弁した。その後つぎの点はどうなっていますか。

エスパワー株式会社を選定し、本年4月より試行として、小川原脩記念美術館、文化福祉センター、旭ヶ丘スキー場の3施設をそれぞれ高圧に係る電力受給を契約している。

本年の灯油価格は、札幌市消費者センターの調査によると、8月25日現在で平均1リットル当たり76円15銭となつてお

り、小川原脩記念美術館は7%割引、文化福祉センターは7.6%割引、旭ヶ丘スキー場は20%割引となつてお、昨年度の試算では3施設の総額で135万円の削減額が見込まれる。

②削減効果、安定供給等を検証し、今後も検討していくことを考えている。

灯油価格がそのままの価格帯で推移した場合に見込まれる。灯油価格がそのままの価格帯で推移した場合には、支援事業を実施しない方向で考えている。しかし、現状の価格帯で推移するには非常に不透明な要素も多々あるので、いろいろな価格の動向も見ながら検討していく。

エスパワー株式会社を選定し、本年4月より試行として、小川原脩記念美術館、文化福祉センター、旭ヶ丘スキー場の3施設をそれぞれ高圧に係る電力受給を契約している。

本年の灯油価格は、札幌市消費者センターの調査によると、8月25日現在で平均1リットル当たり76円15銭となつてお

り、小川原脩記念美術館は7%割引、文化福祉センターは7.6%割引、旭ヶ丘スキー場は20%割引となつてお、昨年度の試算では3施設の総額で135万円の削減額が見込まれる。

②削減効果、安定供給等を検証し、今後も検討していくことを考えている。

灯油価格がそのままの価格帯で推移した場合には、支援事業を実施しない方向で考えている。しかし、現状の価格帯で推移するには非常に不透明な要素も多々あるので、いろいろな価格の動向も見ながら検討していく。



## 原田 芳男 議員 … 3件の一般質問

### 「まち・ひと・しごと創生」の取組み状況

#### 町長：腰を据えた取組みを進める

**原田** 政府は、6月30日閣議で「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」を決め、地方創生に意欲的な自治体に新型交付金の配分や高齢者の方移住を促す構想や官民一体で観光地と地域資源の一体的プラン開発を支援することなどを平成28年度予算編成に反映させるとしている。進め方に疑問も多くあるが、町としての取り組みも現実課題として問われている。地方自治体を競わせ、内容の良くないものは交付金に差をつけるとしている。

計画づくりの指標として1、稼ぐ力を引き出す2、地域の総合力を引き出す3、民間の知見を引き出す4、枠組み・担い手・圏域をどうする

町長 来年度予算編成を進むべき方向を国や自治体が確認するための重要な

な指針と認識している。国の現状認識は、①人口減少に歯止めがかからない、②一極集中が加速している、③地方と大都市で、経済格差が存在しているなど、地方創生の深化に取り組む必要性を示している。地方創生の基本指針では、①総合戦略策定から事業推進の段階へ、②ローカルアベノミクスの実現、③従来の縦割りの事業や取り組みを超えた新たな「枠組み作り・担い手づくり・圏域づくり」が重視とされている。

現在、町では人口ビジョン、総合戦略の年内策定を目指し作業を進めている。人口減少・高齢社会が進む中で対策に取り組んできたが、厳しい状況にある一方、若い世代も多く、観光・高速道路・国際観光リゾートなど可能性を持つた町でもある。

地方創生基本方針の姿勢を好機と捉え、しっかりと

り見据えた戦略を策定し腰を据えた取り組みを進めることで、①人口減少に歯止めがかからない、②一極集中が加速している、③地方と大都市で、経済格差が存在しているなど、地方創生の深化に取り組む必要性を示している。地方創生の基本指針では、①総合戦略策定から事業推進の段階へ、②ローカルアベノミクスの実現、③従来の縦割りの事業や取り組みを超えた新たな「枠組み作り・担い手づくり・圏域づくり」が重視とされている。

今まで通り町が行うとされているが、報道によると計画の無い町に本町も入っていく驚いた。町として、今後どのように進めるのか。

町長 要支援者へのサービスについては、平成27年度から今まで予防給付として行われていた訪問介護、通所介護の2つが市町村が行う地域支援事業の中で、新しい総合事業に移る。

現在、町には要支援1・2の高齢者は240人で約100人が介護サービスを利用している。新しい総合事業の対象者は約70人となっている。

本町においては、ガイヤードラインに基づき、調査検討を行い、平成29年度末までに総合事業を開始する予定としている。

**原田** 国が進める介護保険の改悪で、要支援1・2が介護保険事業から除外され、地方自治体の責任で事業を取り組むことになつていて。今までの議会答弁では、今まで通り町が行うとされているが、報道によると計画の無い町に本町も入っていて驚いた。町として、今後どのように進めるのか。

現在、町では人口ビジョン、総合戦略の年内策定を目指し作業を進めている。人口減少・高齢社会が進む中で対策に取り組んできたが、厳しい状況にある一方、若い世代も多く、観光・高速道路・国際観光リゾートなど可能性を持つた町でもある。

地方創生基本方針の姿勢を好機と捉え、しっかりと

えるためにも、3歳以上児の定数を増やすべきと、①子ども・子育て支援の新制度では施設利用にあたって、町の認定を受ける必要がある。3歳以上で「幼稚園・下、民間の幼稚園と一体で子育て支援を進め、新しい町立保育所の建設も進めている。しかし、町民に十分な情報提供が成されていないという不満が多く寄せられている。さまざまな意見に耳を貸さず進めようとしているが、保育所は誰のためのものなのか問われている。

①基本的に3歳未満は町立保育所、3歳以上は民間の幼稚園としているが町立保育所を希望する親、障がいを持つてお子さんなどの要望にはどう応えていくのか。

未満児だけが町立保育所となれば、2人・3人とお子さんがいる方は、複数の施設に送迎しなければならない。希望に応

るためにも、3歳以上児の定数を増やすべきと、②子ども・子育て支援の新制度では施設利用にあたって、町の認定を受ける必要がある。3歳以上で「幼稚園・下、民間の幼稚園と一体で子育て支援を進め、新しい町立保育所の建設も進めている。しかし、町民に十分な情報提供が成されていないという不満が多く寄せられている。さまざまな意見に耳を貸さず進めようとしているが、保育所は誰のためのものなのか問われている。

①基本的に3歳未満は町立保育所、3歳以上は民間の幼稚園としているが町立保育所を希望する親、障がいを持つてお子さんなどの要望にはどう応えていくのか。

未満児だけが町立保育所となれば、2人・3人とお子さんがいる方は、複数の施設に送迎しなければならない。希望に応

るためにも、3歳以上児の定数を増やすべきと、②子ども・子育て支援の新制度では施設利用にあたって、町の認定を受ける必要がある。3歳以上で「幼稚園・下、民間の幼稚園と一体で子育て支援を進め、新しい町立保育所の建設も進めている。しかし、町民に十分な情報提供が成されていないという不満が多く寄せられている。さまざまな意見に耳を貸さず進めようとしているが、保育所は誰のためのものなのか問われている。

①基本的に3歳未満は町立保育所、3歳以上は民間の幼稚園としているが町立保育所を希望する親、障がいを持つてお子さんなどの要望にはどう応えていくのか。

未満児だけが町立保育所となれば、2人・3人とお子さんがいる方は、複数の施設に送迎しなければならない。希望に応

# 坂井 美穂 議員 … 3件の一般質問



## 子育てが楽しい町へ 放課後児童クラブの拡充を

町長：教育委員会と連携しながら取り組んでいく

**坂井** 子ども・子育て支援新制度が本年4月からスタートしており対象児童も小学6年生までとされている。また保護者の就労だけでなく、保護者の疾病や介護なども該当することに拡大されているが、本町では、児童クラブの対象は小学3年生までとなつておらず、さらに一部の学校では、実際の受け入れが2年生までしかなされなかつたことを非常に残念に感じている。

そこで、今後の児童クラブの拡充に向け、現在の問題点を含め町長の考え方を伺う。

また、児童クラブの整備に向けて、学校施設を活用した実施促進が求められている。余裕教室の徹底活用、特別教室の放課後等の一時的な利用の促進に対する教育長の見解を伺う。

**町長** 拡充に向けた現在の問題点としては、受け入れる教室不足と児童支援員の確保である。国において、放課後児童健全育成事業として、全

力所で放課後子ども教室と一体的に、または連携して、うち1万力所以上を一体型で実施しようとしている。

その事業展開の一つに子育て支援員研修事業がある。本町においても、道で実施する研修について、補助員の受講奨励をして、引き続き教育委員会と連携を図りながら対応していきたい。

そこで、児童クラブの問題点を含め町長の考え方を伺う。

**教育長** 教室の徹底活用、特別教室の放課後等の一時的な利用について、各小中学校では、指導方法の工夫改善ということで、1つの学級を複数に分けて教える習熟度別の指導を取り入れており、現時点では、各学校には余裕教室がない。

また、特別教室の活用については、それぞれが設備的にも特化した教室となつておらず、一般的に

児童クラブの対象は小学3年生までとなつており、さらに一部の学校では、実際の受け入れが2年生までしかなされなかつたことを非常に残念に感じている。

そこで、今後の児童クラブの拡充に向け、現在の問題点を含め町長の考え方を伺う。

そこで、児童クラブの整備に向けて、学校施設を活用した実施促進が求められている。余裕教室の徹底活用、特別教室の放課後等の一時的な利用の促進に対する教育長の見解を伺う。

国で平成31年度末までに放課後児童クラブの受け皿を新たに約30万人分整備し、全小学校区約2万力所で放課後子ども教室と一体的に、または連携して、うち1万力所以上を一体型で実施しようとしている。

その事業展開の一つに子育て支援員研修事業がある。本町においても、道で実施する研修について、補助員の受講奨励をして、引き続き教育委員会と連携を図りながら対応していきたい。

は児童クラブでの活用は困難。

教育委員会としても、本町の子育て支援において放課後児童クラブの事業は大変重要なものと考えており、可能な限り協力していきたい。今後、学校現場はもとより、福祉をはじめとした町長部局とも十分連携を図りながら取り組んでいく。

は児童クラブでの活用は困難。

教育委員会としても、本町の子育て支援において放課後児童クラブの事業は大変重要なものと考えており、可能な限り協力していきたい。今後、学校現場はもとより、福祉をはじめとした町長部局とも十分連携を図りながら取り組んでいく。

**坂井** 建設予定の統合保育所は、未満児は統合保育所で保育を、3歳児以上は私立の認定こども園で保育か教育を受けさせるということであり、幼保一体化による教育、保育の充実を図るものとは思うが、まず保護者の意向を考慮しなければスムーズな移行ができるないと心配される。

は児童クラブでの活用は困難。

教育委員会としても、本町の子育て支援において放課後児童クラブの事業は大変重要なものと考えており、可能な限り協力していきたい。今後、学校現場はもとより、福祉をはじめとした町長部局とも十分連携を図りながら取り組んでいく。

**坂井** 災害時、女性特有のニーズ、また、障がいのある方や高齢者に細やかに配慮ができる体制づくり、女性の視点からの備蓄品等を含めた避難所運営に取り組むことが大切と思われる。

は児童クラブでの活用は困難。

教育委員会としても、本町の子育て支援において放課後児童クラブの事業は大変重要なものと考えており、可能な限り協力していきたい。今後、学校現場はもとより、福祉をはじめとした町長部局とも十分連携を図りながら取り組んでいく。

ドを本町でも導入していくことができないか。

は児童クラブでの活用は困難。

教育委員会としても、本町の子育て支援において放課後児童クラブの事業は大変重要なものと考えており、可能な限り協力していきたい。今後、学校現場はもとより、福祉をはじめとした町長部局とも十分連携を図りながら取り組んでいく。

は児童クラブでの活用は困難。

教育委員会としても、本町の子育て支援において放課後児童クラブの事業は大変重要なものと考えており、可能な限り協力していきたい。今後、学校現場はもとより、福祉をはじめとした町長部局とも十分連携を図りながら取り組んでいく。

は児童クラブでの活用は困難。

教育委員会としても、本町の子育て支援において放課後児童クラブの事業は大変重要なものと考えており、可能な限り協力していきたい。今後、学校現場はもとより、福祉をはじめとした町長部局とも十分連携を図りながら取り組んでいく。



ヘルプカードは、東日本大震災において障がいのある方が避難所などで意思疎通に苦労した体験を教訓に、手助けが必要な障がいのある方や高齢者が携帯することにより、災害時や緊急時、日常生活の中で困ったときなどに必要な配慮や支援を周囲の方にお願いするためのカードである。支援を求める人と支援をする人などを結ぶヘルプカ



## 門田 淳 議員 … 5件の一般質問

### 「町のビジョン」

駅前通りや飲食店街の整備、賑わいを取り戻す政策は

町長：先進自治体を参考に、早急に取り組む

**門田** 駅前通りや飲食店街の整備やにぎわいを取り戻す政策は。

**町長** 交流人口を増やし、ひらふ地域と市街地、さらには関係機関、団体等ともより一層連携を図りながら、商店街等を回遊、誘導するような仕掛けづくりを行う。また、駅前通りの再開発整備は、中心市街地活性化基本計画を盛り込んでその中で今後の新幹線に向けて、どのような整備をしていくかもあわせて検討していく。

**門田** 東陵、グラウンド跡地を活用して、今後、新幹線工事建設事務所や高速道路の工事事務所を積極的に誘致していくべきと考えるが、町長の考えを伺う。



活性化が望まれる駅前通り

**門田** 今後、官民連携やPFーも含め、どう進めていくのか。

**町長** 工事事務所は、場所の提供なり、民間の用地も含めて誘致して、これから10年、15年あるので、十分それと連動した飲食店街の賑わいになればと思っている。

**門田** 12月1日スタートまでの課題点は。

**町長** 委託契約に続き、具体的に寄附金額に応じた返礼品の選定、組み合わせの洗い出し作業を進める。

**門田** 平成30年の開設を進めている統合保育所は、懇話会等を設置するとの答弁があつたがメンバーコンサルタントの十分な打ち合わせをして基本設計をつくるべきだと思うが、打ち合わせ日程はあるのか。

**町長** ①懇話会については保育所の保育士、それからゼロ歳から2歳児を持つ保護者数名等を入れ、基本設計策定時に参画してもらいたい。

**門田** 3幼稚園との連携で密な協議や支援が必要では。

**町長** 各3幼稚園の施設整備もあるので、その支援策も含め詳細に3幼稚園の認定こども園の移行に伴う幼稚園に入園する場合の認定作業についても、3幼稚園としっかりと打ち合わせしながら進めていく。

**門田** \*その他、社会教育行政について、公民館3階図書室の今後の考え方とスポーツ事業についての方

**門田** 出来上がるまで、業者との打ち合わせに懇話会メンバーを交え、使い勝手のよい施設が出来上がるような基本設計をつくつて項目立てたほうがわかりやすく使い道も明確になるのであれば、もう少し部内で検討させ対応していきたい。

**門田** ②来年3月末に成果品が

**門田** 駅前通りや飲食店街の整備やにぎわいを取り戻す政策は。

**門田** 雪の心配がない暮らしを実現するとあるが、いつ、どこに、どのような住宅を建設するのか伺う。

**町長** 現在進めている住生活基本計画の見直しにおける住宅施策の検討の中で、民間主導による「サ高住」サービスつき高齢者賃貸住宅の建設誘導や民間賃貸住宅を活用した高齢者の住まいのあり方等の検討を行い取り組んでいきたい。

**門田** 公共でやるのか、民間の力をかりるのかあるは協働で官民一緒になつた新たな住宅政策をやるのか、十分双方検討しながら取り組んでいく。

**門田** 町の中心部に高齢者住宅を建設し、雪の心配がない暮らしを実現するとあるが、いつ、どこに、どのような住宅を建設するのか伺う。

**門田** 今後、官民連携やPFーも含め、どう進めていくのか。

**門田** 公共でやるのか、民間の力をかりるのかあるは協働で官民一緒になつた新たな住宅政策をやるのか、十分双方検討しながら取り組んでいく。

**門田** 項目については、先進事例も踏まえ、よい施設が出来上がるような基本設計をつくつていく。スケジュールは調整していく。

**門田** ③専任の職員配置を念頭に準備室の創設も検討する。

**門田** の打ち合わせに懇話会メンバーを交え、使い勝手のよい施設が出来上がるような基本設計をつくつて項目立てたほうがわかりやすく使い道も明確になるのであれば、もう少し部内で検討させ対応していきたい。

**門田** ④他の社会教育行政について、公民館3階図書室の今後の考え方とスポーツ事業についての方

# 古谷 真司 議員 … 1件の一般質問



## 教育環境の整備と教育現場の実態

町長：教育委員会と十分連携していく

古谷

①小中学校グラウンドの早期利用について、6月定例議会での教育長答弁では、グラウンドが傷むため、排雪は難しいとの答弁であったが、毎年、北陽小学校では、道路除雪等による堆積された雪を排雪している。その事実からグラウンドの排雪は可能であると考えるがいかがか。

②平成27年度全国学力・学習状況調査の本道における調査結果が公表された。そこで、本町においての調査結果が出ているのであれば、報告と教育長の見解はいかがか。

③小中学校において、日常に夜遅くまで職員室の明かりがついている。教職員においては、部活動、生徒指導、そして保護者対応と非常に多忙な日々を過ごしており、休日も返上し、子どもたちの学習支援に非常に邁進している。

このような多忙な生活環境では、身体的、精神的にかなりの負担がかかっているものと心配される。本町の教育現場の実態をどこまで把握して

**教育長**

①教育委員会としても子どもたちが少しでもグラウンドで早く活動できるように考えている。排雪が一番効果

①教育委員会が取り組んでいる雪割りの実施が最良だと考える。今後とも教育委員会と十分連携の上、子どもたちが早く利用するためには一部分の排雪をしないと無理な部分はある。予算もあるので、十分協議しできるだけ早く雪割りして、早くグラウンドが使えるように工夫していく。

②本町の小学校全体の結果では、国語の知識に関する調査で全国平均を下回ったが、それ以外では全国平均を上回った。また、中学校では、国語と数学で若干全国平均を下回ったものの、ほぼ全国と同程度の水準、今年度で実施された理科では、全国平均を上回る結果となつた。

教員の指導体制の充実

①教育委員会としている観点から、一人で多くの加配教員が配置

いるのか、また、それに 対する改善の対策をとっているか。

④俱知安町通学路交通安全プログラムが策定されている。その中で、点検結果や対策内容について関係者間の認識を共有するために対策一覧表及び対策箇所図を作成し公表するとなつていて。

その関係者の対象者は、町内会等は入らないのか、またいつごろをめどに作成されるのか。

②町長

①教育委員会が取り組んでいる雪割りの実施が最良だと考える。今後とも教育委員会と十分連携の上、子どもたちが早く利用するためには一部分の排雪をしないといふべきである。予算もあるので、十分協議しできるだけ早く雪割りして、早くグラウンドが使えるように工夫していく。

②本町の小学校全体の結果では、国語の知識に関する調査で全国平均を下回ったが、それ以外では全国平均を上回った。また、中学校では、国語と数学で若干全国平均を下回ったものの、ほぼ全国と同程度の水準、今年度で実施された理科では、全国平均を上回る結果となつた。

③各小中学校の勤務の状況は、報告書等で把握をし、12月定例会の行政報告で分析結果を報告する。

③各小中学校の勤務の状況は、報告書等で把握をしている。教職員の心身の健康面について配慮してほしいと伝えていた。道教委においても、時間外の縮減に向け全道的な取り組みを行っている。

④小樽開発建設部俱知安開発事務所など合計8箇所として合計10カ所報告を受けている。この報告を受けた箇所については、8月26日、31日の2日間で全箇所の合同点検を実施し、現地で改善に向けた方策等の意見交換を行つた。

⑤各小中学校から、危険箇所として合計10カ所報告を受けている。この報告を受けた箇所については、8月26日、31日の2日間で全箇所の合同点検を実施し、現地で改善に向けた方策等の意見交換を行つた。

今後、10月上旬をめどに、再度、推進会議を開催し、各危険箇所の対策一覧表を整理し、10月下旬には、町ホームページで公表する。



春を待つ俱知安中学校グラウンド

チーム・ティーチングや習熟度別などの指導方法の改善、学習支援員による個別指導、少人数指導体制の充実など、各学校が学力向上に向け組織的に取り組んでいる効果が、少しずつ出ている。

現時点での概要報告とし、12月定例会の行政報告で分析結果を報告する。

⑥各小中学校から、危険箇所として合計10カ所報告を受けている。この報告を受けた箇所については、8月26日、31日の2日間で全箇所の合同点検を実施し、現地で改善に向けた方策等の意見交換を行つた。

今後、10月上旬をめどに、再度、推進会議を開催し、各危険箇所の対策一覧表を整理し、10月下旬には、町ホームページで公表する。



## 木村 聖子 議員 … 1件の一般質問

### 「子どもプラン」の実効性について、 子ども条例等で町長の指針を明確に

町長：条例の研究をし、保護される手法を検討したい

**町長**  
いわゆる統合保育所認定こども園、一時預かり事業、延長保育、病児保育など平成31

「子どもプラン」の実効性について、  
子ども条例等で町長の指針を明確に  
するための研究をし、保護される手法を検討したい  
この子どもプランの出来栄えが非常に重要な  
といえるが、町長に実効性について伺う。

①この「プラン」を作成するに当たり、就学前児童及び小学生児童のいる家庭に対し、アンケートをとっているがこのニーズ調査はどう反映していくのか。

木村 倶知安町の「子どもプラン」の実効性について、子どもたちの周辺環境の整備は、魅力ある住みやすい自治体として選ばれる重要な要素であり、人口減少を防ぐためにも喫緊の課題。この子どもプランの出来栄えが非常に重要な  
といえるが、町長に実効性について伺う。



整備が望まれる児童館

**木村** ニーズ調査をしっかり分析しないと、町民の感覚とかけ離れたものになり、結果的に満足度が上がらない。  
放課後児童クラブや児

当たっては、各課から構成員を募り、子育て推進委員会を立ち上げて、情報の共有を図りながら協力体制を整えていく。

**木村** 8月に調査した自

治体のひとつである士別市では「子どもの権利に関する条例」を施行している。そこには子

童館の受け入れ態勢で、小学生低学年の預かりが現など、潜在ニーズを含めた要望に対応するよう順次取り進めていきたい。必要な施策目標、実施策を取りまとめ、各課協力のもと事業の推進をしていく。計画の推進に当たっては、各課から構成員を募り、子育て推進委員会を立ち上げて、情報の共有を図りながら協力体制を整えていく。

木村 二ニーズ調査をしっかりと分析しないと、町民の感覚とかけ離れたものになり、結果的に満足度が上がらない。

木村 倶知安町の「子どもプラン」の実効性について、子どもたちの周辺環境の整備は、魅力ある住みやすい自治体として選ばれる重要な要素であり、人口減少を防ぐためにも喫緊の課題。この子どもプランの出来栄えが非常に重要なといえるが、町長に実効性について伺う。

**木村** 士別市は、子ども憲章を条例化したことについて、考え方や利用料含めて差違があるので同じ目線で当たるよう、推進委員会を立ち上げ、しつかりと対応していく。

木村 倶知安町の「子どもプラン」の実効性について、子どもたちの周辺環境の整備は、魅力ある住みやすい自治体として選ばれる重要な要素であり、人口減少を防ぐためにも喫緊の課題。この子どもプランの出来栄えが非常に重要なといえるが、町長に実効性について伺う。

木村 倶知安町の「子どもプラン」の実効性について、子どもたちの周辺環境の整備は、魅力ある住みやすい自治体として選ばれる重要な要素であり、人口減少を防ぐためにも喫緊の課題。この子どもプランの出来栄えが非常に重要なといえるが、町長に実効性について伺う。

# 作井 繁樹 議員 … 4 件の一般質問



## 投雪口「跳ね上げ式蓋」スピード感を持って交換を

町長：要望も高く、積極的な取り組みをしていきたい

流雪溝の昨シーズンの使用中止日数は。

4日、国道5号線で10日、  
国道276号線は  
メルヘン通りは停止ゼロ。

水する要請の進捗状況は。  
平成26年11月に流雪溝管理運営協議会から国・道・町に対し要望、町も開発局へ要望。今後は、流雪溝の再整備について、開発局及び北海道と協議する。

出動基準、作業基準は、統一されて

いる。一時的には基準を満たさない場合もあるが、雪は3自治体ぐらい。

作井 同様に流雪溝の流れをスムーズにするためには尻別川の本格整備が必要、その前提である尻別川圏域河川整備計画の策定進捗状況は。

作井 本年度中には計画（案）が作成され、国へ許可申請を行う予定。

作井 除雪に関する関係化すべき。また、実態と例規が混在、簡素化すべき。

作井 福祉除雪として間口雪処理を行つている先進地事例の認識は。

町長 再整備は大変困難、関係機関と連携して検討したい。

町長 一定の基準があるからこそ指導ができる、基準がなければ適当になる、この基準に沿つて除雪をしていく。

町長 間口雪処理

町長 いろいろな中から研究費を引き出し、少しずつ調査を進めることは可能だと思つ。

町長 国道5号線の交換率は5割程度、国道276号線は2割5分程度、駅前通りは全て交換済、メルヘン通りは今年度で全て交換。来年度以降、都市下水路路線の交換を順次していきたい。

作井 新雪出動10cmなど、出動基準等のチェック体制と履行状況は。

町長 受託者がパトロールを行い、町もパトロール、作業日報等をおむね満たしている。

町長 間口除雪は永遠の課題、十分検討し、いい形で一部からでも取り組みたい。

作井 総合戦略交付金を研究費に活用すべき。いずれにしても雪対策は重要なキーワード。

作井 投雪口の跳ね上げ式の蓋への交換状況は。

作井 跳ね上げ式蓋、スピード感をもつて交換を。

作井 路面整正における路面圧雪厚、数値基準を明文化すべき。

町長 まずは高齢者・身体障がい者などへの福祉除雪として、二一度調査を行い、来年度から試行すべき。

町長 地域の状況に応じて創意工夫し行って创意工夫し行つて、現時点では、相当困難、今後も情報収集しながら取り進める。

町長 国道5号線で10日、国道276号線はメルヘン通りは停止ゼロ。

町長 平成26年11月に流雪溝管理運営協議会から国・道・町に対し要望、町も開発局へ要望。今後は、流雪溝の再整備について、開発局及び北海道と協議する。

町長 出動基準、作業基準は、統一されて

いる。一時的には基準を満たさない場合もあるが、雪は3自治体ぐらい。

町長 全路線間口雪処理も総合戦略に盛り込み、具体的に研究すべき。



## 山田 勉 議員 … 2件の一般質問

### じゃがりん号の郊外地区運行に向けて

町長：郊外居住者の利便性が向上できるよう検討していく



**山田** 町中循環バスじゃがりん号が通常運用がなされ、郊外地区の住民はその恩恵がなかなかなく、公平性に欠けている部分を何とか解消できないか。

福島町政の時にも質問された事だが、特に農村地区の繁忙期5・9・10月は、高齢者等の送迎時間が取りづらい状況にあり要望等とりまとめて時間と場所等決めた中で試

**町長** 3年間の実証運行を経て平成24年度から通年運行を開始し、本年4年目を迎える26年度は3万7439人、定期券利用者が25年度と比較して1300人増加し、

町民の交通手段として定着しつつあり、26年度で2150万円の運行経費の内538万円が補助金1273万円を町単独支出しており、地域内バス

駆運行するとか、送迎できる方にチケットを出す等何か方策があるはず。前向きな答弁を伺う。

と赤字路線バスをつなぎ長く存続させ住民の交通手段を確保する目的で運行している。

**山田** 公用車等の車検整備に係る発注の均衡化

**町長** 色々な角度から議論し調査・研究して検討していく。

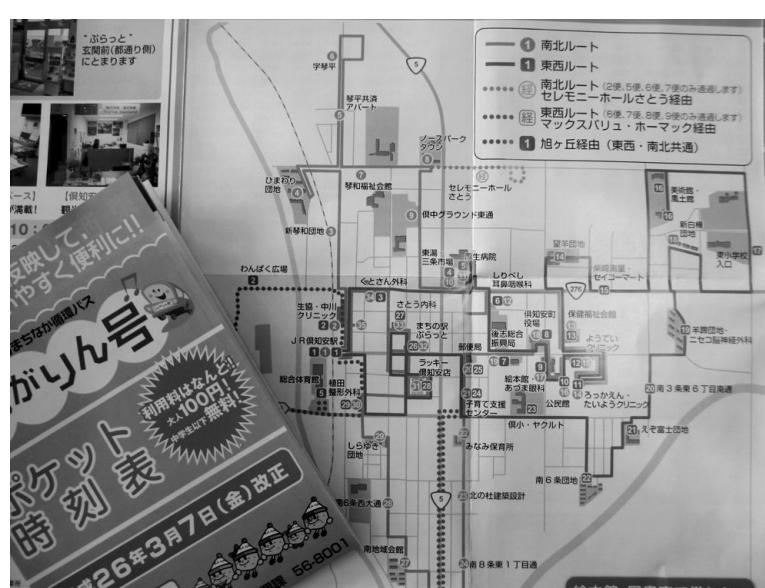
**山田** 町内と郊外と隔たった大型バスだけに頼らず機械的な方策を考えてもらいたい。

委員会と協力してスクールバス無料住民利用を実施しているが、今後も郊外居住者の利便性向上が少しでも図られるよう工夫していきたい。

**町長** 本町には現在77台の車両を有しておりリース車両が30台、おりリース車両が30台、町所有車両47台、内バイク等除く車検必要車両27台となつており、リース車両は管理している担当課において整備業者決定はしておらず、町所有車両について各課により業者決定している。

50万円以下の予定価格

により任意で2社以上の見積もりを徴し見積もり額の低い1社と契約を締結することになる。見積もり業者の選定に当たつては、指名願いの提出業者を参考としているので、是非2年に一度の提出をしつかりしていただきたい。車検整備を含め町が発注する事業について、今後も広く発注機会を提供することが必要であると考えている。



# 田中 義人 議員 … 1件の一般質問

## 官民連携による合理化と活性化は



町長：課題は多いが検討を進めていく

**町長** ①旭ヶ丘総合公園は平成23年に公園施設長寿命化計画を策定し遊具等の更新を進める。老朽化が進んでいるスポーツ施設やさらなる維持管理の充実が望まれている。民間活力の導入等による利活用や管理・運営、施設整備手法について、協議・検討を進める。②旧東陵中学校の一般開放に係る運営方法は、現

④マンパワー不足は、人手不足と能力不足の2つが上げられる。職員研修や人事交流、また来年度から始まる人事評価制度を絡めた施策は。

②旧東陵中学校を一般開放するとの事。その際の運営方法は。

③新給食センター、統合保育所、完成後の運営方法は。

**田中**

財源やマンパワーが不十分で、本町は抜本的改革と民間との連携が欠かせないと考えます。4点について、町長に見解を伺う。

①旭ヶ丘総合公園のさらなる利活用、活性化について。



旭ヶ丘総合公園

時点で直営を考えている。鍵の開け閉めに立ち合うなどの方法で対応したい。また、利用時間、利用料金などは、今後具体的に詰めていく必要があるが従前の児童生徒の部活動に関しては無料としたい。一般開放は、少なくとも実費は負担をいただきたいと考えている。今后の本格的な跡利用としての道筋が決まるまでの暫定的な開放となるが、他の町有施設の管理条例なども参考にしながら、利用時間、利用料金など施設の運営管理に当たつては各研修に延べ82名を受講させていた。また、主査、係長、主幹職以

いと考えている。  
③給食センター、統合保育所等に係る運営方法は給食部分については、公設民営と考えている。新学校給食センター稼働時の平成29年4月には、給食業務管理のノウハウがある民間企業への外部委託について、教育委員会内で現在検討・協議を図ることとしている。

ただし、給食献立の作成や食材の調達等は、地産地消、食育の観点からも引き続き栄養教諭を配置して町が行い、業者への委託は調理、洗浄を中心とした業務に限定するよう考えている。

統合保育所の運営は、基本的に現在の3保育所と同様に直営を考えており、保育所の給食については場所の提供をして外注することを検討している。

統合保育所は、子育て支援センターの持つた複合施設機能というのは非常に有効であるし、望ましいと思っている。

④職員研修に当たつては、主査、係長、主幹職以

は、北海道市町村職員研修センター主催の指導能効力研修、管理能力研修に参加させ、スキルアップを図っている。人事交流は、北海道と市町村等の職員交流要項に基づき、現在、1名相互に派遣交流を行っている。

地方公務員の一般職に市町村等の職員交流要項に基づき、現在、1名相互に派遣交流を行っているが、例として民間団体が窓口業務を行って代わりに使用料を免除する等、管理の仕方を工夫する。利用の状況によって運営の手法を十分検討したいと考える。

田中 担当課 9月に議員団と一緒に士別、奈井江、恵庭等を視察してきました。特に恵庭市の黄金ふれあいセンターは参考になりそうだ。複合施設という形で保育、子育て支援、地域交流センターという部分が出てくると思う。

東陵中学校の今後、管理費用を抑えるために、鍵の開け閉めや使った後の掃除と



## 榎政信議員 … 3件の一般質問

### 観光・防災などの広域連携をどう進めるか

町長：新たな発展と可能性を生む西胆振地域との連携にしっかり取り組む

（仮称）羊蹄山麓・西胆振地域広域連絡会議に対する考え方や意気込みを伺う。また、民間や住民の関わりをどう考えるか。

新幹線や高速道路ICにより観光や交通のハブとなる本町への考え方や取り組みを伺う。

町長 観光局の設置は、合意形成までに至らず、進展していない。

当面、喫緊の課題に対し協議していく。観光圏は、整備実施計画に基づいて進めている。

西胆振地域との防災連携では、千歳市と協定を結んでおり、苫小牧市も受入れマニュアルを策定している。他の市との協議はどうなのか。

新幹線駅周辺に駐車場やバスターミナルを設置することで、二次交通の拠点を含む西胆振地域との連携会議は、地域に新たな価値を生み出すため、観光・食・自然・人など様々な地域資源を生かす取り組みが行われると考えている。災害援助はもとより様々な分野での取り組みが必要であり、民間事業者や観光協会などに対しても働きかけが出てくる。観光や交通のハブ拠点

として、本町の役割が重要なものとなる。今後、周遊ルートの確立や広域観光のPRなどに取り組むべき各町村や関係機関に働きかけていきたい。



二次交通の拠点として期待される俱知安駅

（榎） 乳幼児や小学生など子育て中の保護者の病気や急用ができる時、子どもを預かったり送り迎えを支援する人を結びつけるファミリーサポートセンター事業。統合保育所に拠点を設置す

（榎） ファミリーサポートセンター事業の取組みは

（榎） 住みやすい住宅を求める声にどう答えるか

（榎） 民間賃貸住宅の高い家賃が、住みにくさや定住阻害の原因にもなっている。

（榎） 観光局は、民間団体も含んだ組織構成を想定しているので、権限や財源の在り方が整理できていない。様々な角度から検討をしている。防災連携は、千歳市の他、苫小牧、室蘭、伊達市と協定を締結している。登別市は年内に避難場所が設定される。

（榎） 倶知安町子どもプランで子育て援助活動支援事業として明記されている。5年後といわず、準備を進めるべきではない。

（榎） センター事業では、行政は橋渡し役。民間で実施できる部分が早まり、需要があれば、前倒しをしてでも進めて行きたい。

（榎） 8月末より見直し作業を始めており、懇話会などを開催し、2月には見直し案を策定する予定。

（榎） この2年間だけでも200戸近い民賃住宅が増えている。住情報が少なく、収入に応じた家賃の住宅を選択できない。町のホームページに住宅情報を載せていい。町のホームページに住宅情報を載せ、選択肢を増やしたい。

（榎） 若者や子育て世代には、民賃住宅を活用した住宅セーフティネットの構築が必要と考えている。高齢者の居住には、介護や福祉との連携も必要で、住生活基本計画の見直しの中で検討していくたい。

（榎） 更に家賃補助をすることと低家賃化を図り、人口流出を阻止できないか。町長の見解を伺う。

（榎） 観光局の設置や蘭越町を含めた二セコ観光圏の現状と今後の計画を伺う。

（榎） 二セコ町と合意形成できない障害は何か。課題を乗り越えなければ、広域連携は難しいのではないか。

（榎） 観光局は、民間団体も含んだ組織構成を想定しているので、権限や財源の在り方が整理できていない。様々な角度から検討をしている。

（榎） 法人から実施への打診があつた。事業自体の勉強も含めて来年度から5ヵ年の中で整備する方針を立てている。

（榎） 具体的な計画は無い。町内のNPO法人から実施への打診があつた。事業自体の勉強も含めて来年度から5ヵ年の中で整備する方針を立てている。

## 阿部 和則 議員 … 1件の一般質問



## 東陵中学校跡地の利活用

町長：利活用に向けて積極的に取り組んで行く

阿部

東陵中学校跡地の利活用について新聞報道では、町民に開放するとして示されたが、これは老朽化を進ませないための暫定措置、応急措置的なものであると思つてゐる。

この問題は、あくまでも校舎を使うという前提のもとに議論をするのでなく、校舎とグラウンドの一体開発、すなわち敷地面積4万2799m<sup>2</sup>の町有地を有効活用する視点を持つべきだと考えている。

いまや本町全域に、土地需要が起きている状況だ。絶対的に不足しているリゾート地区の従業員アパートの建設を地価の安い市街地に建て始めたこと、あるいは同様に山田地区、スキー場地区、リゾート地区から事務所を移転する動きも目立つてきている。これとは別に、行政が用意しなければならない施設、住宅もある。

恒常に不足している子育て世帯の低家賃住宅、雪の心配の要らない高齢者住宅、これなどはみずから建てるという考え方



旧東陵中学校

①きょうまでの進展状況。  
②今後の計画（グラウンドと一體的な開発について）、どういう構想を持っているのか。  
③仮に解体するとしたときの費用。

町長

(1) 旧東陵中学校

西の端にあるサン・スポートランドの1万坪の町有地、東の端にある東陵中学校跡地の1万3000坪の町有地、この2つの開発こそが給食センター、保育所に続く町長の大きな仕事になると思う。

地方版総合戦略の柱は人口減少対策と地域の活性化。この2つの町有地の開発こそが、この事業の中心になる。第5次総合計画、あるいは県知安町総合戦略と整合性をとりながらの町長にとって初めての予算編成といふことで、ここはじっくり腰を据えて、この2つの町有地の活用に取り組んではいかがか。

単に、旧東陵中学校の施設利用から町全体の発展のための位置づけが必要と考え、町長の見解を伺う。

①きょうまでの進展状況。  
②今後の計画（グラウンドと一體的な開発について）、どういう構想を持っているのか。  
③仮に解体するとしたときの費用。

これまで児童生徒の部活動に限定をした校舎の開放をしてきが、今後に向けて抜本的な後利用を考えたとき、少しでも多くの町民の方々に利用してもらい、施設に触れてもらう中から、新たな民間の発想での利活用策も提案してもらい、検討をしていきたい。

②特にグラウンドと一体的にグラウンドと一体的にいうことは、現時点では考えていない。

今までソフトボール大会の開催日に、練習場として貸し出していた。

今後も、ソフトボール大会の補助的なグラウンドとして使ってもらいたいと考えている。

③あくまでも現施設の有効利用を想定しているので、解体に係る試算はしていない。しかし、解体するとなれば、少なくとも1億円以上の規模になると想像している。

仮に解体するとなれば解体経費に加え、耐震化工事に係る国からの交付金の経過年数に応じた返

# 常任委員会・特別委員会活動報告

## 総務常任委員会

## 厚生文教常任委員会

付託された「個人情報保護条例の全部改正」について、6月より審査を始め、第3回定例会で審査報告を行いました。

結果は、修正した案を提案し、本会議で可決しました。詳細は議会ホームページをご覧ください。今後も町長から提案される条例に対し慎重審議を行っていきます。

国の「まち・ひと・しごと」地方創生長期ビジョンと総合戦略に対し踏まえた「人口ビジョン」や「総合戦略」を策定中ですが、委員会としても、所管事務調査として審査を行っています。

これまで、町の取り組み状況の把握や北海道の担当部長からの聞き取りなど情報共有を行いながら、総合戦略に向けた検証や議論を行い、町長との意見交換など積極的に関わっているところです。

## 経済建設常任委員会

6月から9月にかけ、新委員との情報共有と現状把握のため、町内外の視察を行いました。



わんぱく広場に設置する遊具のイメージ図

## 議会活性化特別委員会

9月の議会だよりで「まちなか懇談会」の案

寄せ下さい。  
町民の皆さんのお声もお

今後の活動として、11月上旬に北部方面総監並びに第11旅団長へ、更に中旬には防衛大臣並びに国会議員への要望を予定。俱知安駐屯地拡充に向け、の確かな手応えを感じています。

内を始めました。この懇談会は、町民の皆さんのが、いつでも、どこでも開催いたします。町民の皆さんの申込みをお待ちしております。

議会活性化に向け課題の整理を行いました。

自衛隊駐屯地特別委員会

8月18日、前田眞知安駐屯地司令並びに北海道施設局より北橋防衛技官ほかにご来庁頂き、本年度の「防衛白書」に関する説明会、わが国を取り巻く安全保障環境の変化などを改めて勉強しました。

今後の活動として、11月上旬に北部方面総監並びに第11旅団長へ、更に中旬には防衛大臣並びに国会議員への要望を予定。俱知安駐屯地拡充に向け、の確かな手応えを感じています。

①では、まちなか懇談会がスタートしましたので次は「議会報告会」の検討を始めます。

②では、委員会のあり方や予算特別委員会の可否について検討を始めます。

「できることからどんどん取り組んで行く」をモットーに進めて行きま

大変、幅の広い委員会であり、生活にすぐ結びつく密着度の高い委員会です。

7月16日から17日の2日間の日程で町内・町外現地施設視察が行われました。

町外視察地として、京極町学校給食センター・留寿都村保育所・ニセコ町民センターなどを視察し町内施設としては、固体燃料化施設・旧東陵中学校・高砂水源地・統合保育所建設予定地などを視察し、町内施設の現況を把握する重要な研修となり、今後の活動に活かしていきます。

農業関連では作況や農協の施設、花園牧場に係る諸課題について、観光においては、現在、多くの開発行為や建設が進む二セコひらふ地区の諸課題について取り組んでおります。

併せて、設置予定場所を確認し、町民の皆さんのが安全・安心に遊んで頂けるよう、公園全体の整備が予定されています。

また、9月の局地的な豪雨による災害現場の視察や補正予算対応など、委員会として迅速に活動承認しました。

8月18日、前田眞知安駐屯地司令並びに北海道施設局より北橋防衛技官ほかにご来庁頂き、本年度の「防衛白書」に関する説明会、わが国を取り巻く安全保障環境の変化などを改めて勉強しました。

今後の活動として、11月上旬に北部方面総監並びに第11旅団長へ、更に中旬には防衛大臣並びに国会議員への要望を予定。俱知安駐屯地拡充に向け、の確かな手応えを感じています。

①では、まちなか懇談会がスタートしましたので次は「議会報告会」の検討を始めます。

②では、委員会のあり方や予算特別委員会の可否について検討を始めます。

「できることからどんどん取り組んで行く」をモットーに進めて行きま



あけぼの子どもセンター「愛遊夢（あゆむ）」  
1階天井一部が歩けるネット仕様（士別市）

## 統合保育所に関する特別委員会

7月6日の臨時議会で議長を除く15人の議員で構成される統合保育所に関する特別委員会を設置し、三島喜吉委員長、作井繁樹副委員長が選任されました。

保育所整備については、長年の懸案事項でもあり、平成24年8月に『子ども子育て3法』が制定され、現3幼稚園と保育所と連携の中で、具体的に歩み出しました。

現在まで6回の特別委

現在、用地測量を終了し、基本計画策定に向け、指名型プロポーザル方式を採用して業者選定を行っています。

俱知安町の保育所を統合して平成30年開所を目指して、議会として将来を託す子ども達の健全で健やかな成長を願いながら、議会としての意見反映の方策を探りながら活動に議論を重ねてきています。

8月6日から7日の日程で先進地視察を行いました。

奈井江町の認定こども園「はぐくみ」では、子育て支援に対するニーズの多様化を受け、多機能な施設整備が保護者から望まれ、複合施設として

員会を開催し、俱知安町幼保再編支援基本方針及び建設予定地として俱知安町南3条東5丁目の町有地を候補地として選定した経過の説明を受けました。

美瑛町では、「美瑛町地域材利用推進方針」に基づき、北海道森林整備加速化林業再生事業を活用して整備された美瑛図書館を視察。地場産カラマツ材を使い、障がい者、子ども及び高齢者の利用に配慮した段差解消のバリアフリー仕様としています。

士別市は、子ども子育て日本一を掲げ、「子どもの権利に関する条例」を定め子育て支援に積極的に取り組んでいます。

平成24年3月完成の「あいの実保育園」は一時保育と子育て支援センターを併設しています。

あけぼの子どもセンター「愛遊夢（あゆむ）」は多機能な児童館

として高校生までの利用ができます。

恵庭市の「黄金ふれあいセンター」は子どもの居場所づくりとして整備された子育て多機能複合施設で、地域コミュニティー機能も併せ持ち、

北海道森林整備加速化林業再生事業を活用するなど、自主財源の低減に努めています。

この度の視察を踏まえ、



黄金ふれあいセンター（恵庭市）



俱知安中学校  
石館 香菜さん

## 町民の広場

感じていることに対する  
わかりやすく説明をして  
いただいて、とても勉強  
になりました。

私は「空き家の増加」

についての説明がとても  
印象に残りました。なぜ  
なら、最近空き家が増え  
ていていると感じましたが、  
空き家は古くなつて危険  
であつても、会社や個人  
の持ちものなので壊すこ  
とはできないということ  
を知ることができたから  
です。

私は、今回の子ども議  
会で初めて知ったことや  
学んだことがたくさんあ  
りました。

町づくりのこと、学校  
のことなど私たちが普段  
学んだことがたくさんあ  
りました。

町民の方々からのご  
意見を掲載してあります。  
ぜひ皆さまのご意見  
をお寄せください。

子ども議会に  
参加して

私は、今回の子ども議  
会で初めて知ったことや  
学んだことがたくさんあ  
りました。

私は、今回も議  
会で初めて知ったことや  
学んだことがたくさんあ  
りました。

「町づくり」・「絵本館」・  
「総合体育館の利用」・「空  
き家」・「学校のこと」につ  
いて今まで疑問だったた  
だし、さらに深く考え  
ることができたので良  
かったです。

今回の子ども議会でた  
くさん学んだことを活か  
せるように少しでも俱知  
安町に、地域に貢献でき  
る活動やボランティアに  
参加していきたいと思いま  
す。(原文のまま)

## ～議会を傍聴してみませんか～

議会はいつでも、どなたでも傍聴できます。

12月の定例会は12月7日(月)からの予定です。

一般質問 12月14日(月)・15日(火)・16日(水)

議案審議 12月17日(木)

会議は、午前9時30分から開催される予定です。

●●● 議会のホームページ ●●●

俱知安町ホームページ <http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/>

◆町の紹介「議会」

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。 TEL 56-8016(直通)



